

子どもたちの食を守るために私たちができること ～外から来る食とどう向き合う？日本の農業の未来～

【経歴】

講師：内田樹（うちだ・たつる）先生

1950年東京生まれ。東京大学文学部仏文学科卒。東京都立大学人文科学研究科博士課程中退。東京都立大学人文学部助手、神戸女学院大学文学部助教授、同教授を経て、2011年に退職。同年、神戸に武道と哲学研究のための学塾凱風館を創建。凱風館館長、神戸女学院大学名誉教授、神戸女学院理事、昭和医科大学理事、合気道兵庫県連盟理事。専門は20世紀フランス哲学・文学、武道論、教育論。



【著書】主著に『寝ながら学べる構造主義』、『ためらいの倫理学』、『レヴィナスと愛の現象学』、『先生はえらい』、『街場の文体論』など。第六回小林秀雄賞（『私家版・ユダヤ文化論』）、2010年度新書大賞（『日本辺境論』）、第三回伊丹十三賞を受賞。近著に『日本型コミュニズムの擁護と顕彰』『知性について』『新版・映画の構造分析』など。

【講演概要】

現在を取り巻く日本の農業はどのようなになっているのでしょうか。令和の米騒動が起き、値段も高くなって、日本のお米が私たちの食卓から消える事態にまで陥りました。国産の農産物を口にすることさえ、とうの昔に当たり前ではなくなっています。日本の社会とその未来である子どもたちの食は、今どのように侵され、食料自給率の改善を始め、日本の農業を立て直すには、どのような考え方が必要でしょうか。透けて見える対米従属の視点も踏まえ、貴重なお話を伺います。

2025年11月29日(土) 15:30～17:00

参加方法：zoom ウェビナーによる視聴（事前予約不要）

このイベントは、オンラインのみで行います。参加を希望される方は、下記人権シンポHPのイベント一覧からご参加ください。

人権シンポHP：<https://www.kanaben.or.jp/news/event/2025/sympo2025.html>



主 催：神奈川県弁護士会（企画：貧困問題対策本部）・日本弁護士連合会

問合せ：神奈川県弁護士会 ☎045-211-7705（平日 9～12 時、13～17 時）